

事務事業評価シート

(H.28)No.	4358	(H.27)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	市民陸上競技場改修事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	市民スポーツ室	合田卓也	

会計区分	事業コード
一般会計	(中事業名)※予算書事業名
款 教育費	陸上競技場改修事業
項 保健体育費	(小事業名)
目 体育施設費	陸上競技場改修事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4 豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	2 生涯学習・生涯スポーツの推進
	施策	2 生涯スポーツ
	小施策	
重点施策コード	3-7.サッカー場(陸上競技場)の整備	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
昭和54年に建設した市民陸上競技場の老朽化に対応するとともに、利用者のニーズに適応した施設への改修を行うことにより、生涯スポーツの振興や競技力向上等に寄与します。
事業内容
市民陸上競技場内のトラックを全天候型に、フィールドを人工芝に改修します。また、施設管理上必要な付帯設備の施工を合わせて実施します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画		市民陸上競技場改修事業 役務費 100千円 委託料 159,000千円 工事請負費 400,000千円 備品購入費 14,000千円

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費		430,000千円			
内訳(千円)					
国・県支出金		30,000			
地方債		249,500			
その他(スポーツ振興くじ)		150,423			
一般財源	(0) 0	77	0	0	0
人工数					
職員		0.25人			
臨時職員等	0.00人	0.15人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円) 0千円	2,155千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 0千円	432,155千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
市民陸上競技場の老朽化や近年の利用者ニーズへの対応、また平成33年開催の三重国体の競技会場としての整備等に対応するため、必要な施設改修を行います。	スポーツ振興くじ助成金を活用するなど、財源の確保を行うとともに、施設利用者等からの意見聴取を行い、利用者のニーズに適応した、誰もが利用しやすい施設への改修を行います。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	施設改修により、生涯スポーツの活性化につなげるとともに、安心、安全な施設利用が可能となります。また、天候の影響を受けにくい仕様となるため、施設のさらなる有効活用が図れます。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	改修にあたり、施設利用者との協議を行い、利用者の視点を整備計画に反映します。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
施設の老朽化や利用者ニーズへの対応、また三重国体の競技会場としての整備等に対応するため、平成28年度内に計画的に施設改修を進めます。	名張市スポーツ推進計画